

# 入江あき子の県議会速報



2月県議会（2月17日～3月17日）の報告です。



## 2016年度千葉県一般会計当初予算 1兆7139億円（過去最大規模）

森田県政は、アベノミクスや地方創生など安倍政権の政策に倣い、「国頼み・国任せ」の消極姿勢。「地方自治」を基本とする独自政策はほとんどなく、県民生活の実態に本気で向き合っていない。新年度予算を中心に、2月議会の主な問題点をお伝えします。

### 地域経済と雇用

来年4月の消費税10%引き上げをめぐる動きが注目されていますが、安倍政権が増税を「見送る」のであれば、アベノミクスの失敗をまず認めるべきです。アベノミクスで潤ったのは、一部の大企業、資産家、そして20億円を超える企業献金を受けた自民党だけ。事実、千葉県の法人税収入は増加していますが、その財源の大半は大企業。99.8%を占める県内中小企業（約13万社）の経営は厳しく、資本金1億円以下の約7割が納税できていません。

千葉県でも非正規雇用が増加し、若年層では4割も占めています。少子化を防ぐためにも、若年者の雇用安定化は重要です。ところが、県は今年度まで行っていた有効な事業（若年者の正規雇用化&中小企業の若手人材確保）を来年度から打ち切るとのこと。国からの財源（今年度約3億円）がなくなることを理由に、廃止すべきではありません。

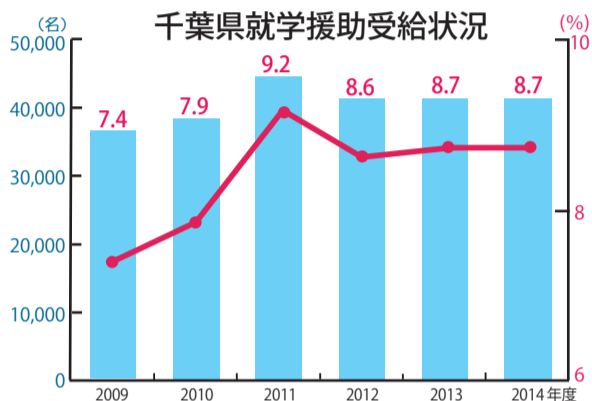
### 子どもの貧困

労働法制の改悪やアベノミクスによる格差拡大で、子どもの貧困が深刻化しています。

山形大の山室准教授の調査によると、千葉県の子どもの貧困率は直近で10.4%。小中学校で就学援助（給食や学用品等の援助）を受ける子どもも増えています（グラフ参照）。

今年度、県は子どもの貧困対策推進計画を策定しましたが、新年度における取り組みは余りにも不十分。圧倒的に不足している児童相談所の専門職の増員はわずか3名、スクールソーシャルワーカーは、全県でわずか8名の配置。生徒の6割が働きながら学ぶ夜間定時制高校の給食についても、経費削減ありき

で廃止対象を2校から5校に拡大。貧困の現実を直視していません。



### オリンピックで地方創生?

森田知事が一番力を入れているのは、東京オリンピック・パラリンピックを契機とした観光による県内経済の活性化。新年度予算では、事前キャンプや国際競技大会の誘致、施設の大規模改修等の関連予算に約20億円。さらに、国からの地方創生加速化交付金約8億円のうち4億円を使って、有料道路の無料開放を行う予定。しかし、これで地域経済は活性化するのでしょうか。しかもこの無料化を行うための交付金（3.4億円）は、議会閉会翌日の18日に、国から却下されてしまいました。

T P P対策についても、国の交付金頼みで約200億円の農業関連予算を計上。その大半が水田の大区画化等の土木工事に投入される一方、農家の所得向上や雇用創出につながる六次産業化の予算は半減し、2億5000万円。

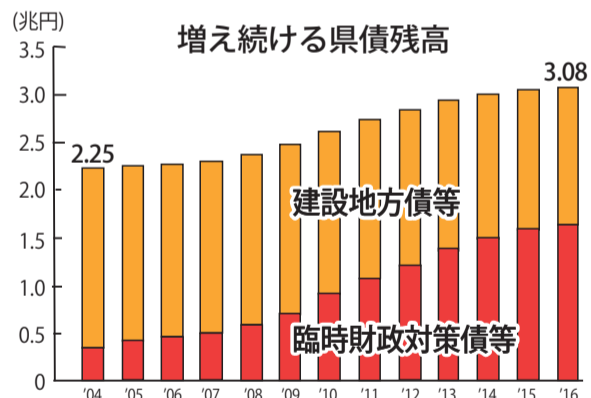
安倍政権の地方創生は、地方に「人口減少」「消滅自治体」の危機感を煽り、交付金というアメで地方を従わせる中央集権的なもの。

国のお仕着せの地方創生ではなく、千葉の地域特性を活かした内需拡大、地域分散型の経済に目を向けるべきです。

### どうなる?今後の千葉県

千葉県の県債残高は3兆804億円で、県民一人あたりの借金は50万円を超えました。限られた財源は、県民の命や暮らし最優先で使うべきですが、ハッ場ダムに22億円、高規格道路ネットワークに606億円など、相変わらず不要不急の大型土木工事に優先的に投入。その一方、県立病院の耐震化や県立学校の改修には必要な予算が付けられていません。

この他、医療、介護、保育の現場においても、課題山積の千葉県。すべての問題を紙面でお伝えできませんが、4月20日発行予定の「入江あき子の県議会報告」で、さらにご報告させていただきます。ぜひご覧ください。



### 2016年度 千葉県の施策 佐倉では

#### 【新規】

- 中志津駐在所 建替えのための実施設計費
- 橋りょうの長寿命化 成東酒々井線 宮前橋（上勝田）
- 橋りょうの点検 R296号 臼井橋（臼井田）、鷹匠橋（角来）
- 歩道の安全調査 R296号（鎗木）

#### 【継続】

- 船戸大橋架替事業（2018年度末 完成予定）
- 鹿島川 築堤・河道掘削（進捗率 48%）
- 高崎川 樋之口橋架換え事業（2018年度 完成予定）
- 道路排水整備 千葉臼井印西線（生谷）
- 急傾斜地災害防止 臼井台2地区、角来2地区



### イベントのご案内

#### ◆小西ひろゆき×小林節「憲法ぶっちゃけトーク」

昨年9月の国会で、安保法案を体を張って阻止しようとした小西洋の参議院議員、「憲法を守れ！テラメな政治はやめろ！」と安倍政権批判の最前線で大きな声をあげている憲法学者の小林節さんが、憲法、平和、政治、暮らしについて語ります。ぜひご参加ください。

4月10日（日）13:30～15:30（開場13:00）  
千葉市文化センター5階セミナー室 参加費：500円  
主催 市民ネットワーク千葉県